シュタイナー療育センター　春の研修会２０１５

フィルダークリニック治療教育家　ヤコビ氏から学ぶ

「シュタイナー治療教育の意味と実際」

期　間　：　平成２７年３月３１日（火）～４月４日（土）　　全５日間

会　場　：　板取会館　　長野県北安曇郡松川村３６５

日程表　　テーマ　１２感覚　―　世界への扉

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 日時 | ３月３１日（火） | ４月１日（水） | ４月２日（木） | ４月３日（金） | ４月４日（土） |
| 9:00～11:00 | 触覚と生命感覚の発達とケア  講師：ヤコビ | 聴覚と言語感覚、思考と自我感覚の発達とケア  講師：ヤコビ | ダウン症の人間学的観点  講師：ヤコビ | 自閉症スペクトラムの人間学的観点  講師：ヤコビ | 障がいを持つ子供にかかわる大人の自己教育  両親への励ましとサポート  講師：ヤコビ |
| 11:10～12:10 | 感覚論理解のために  講師：松田 | 森の工房施設見学社会セラピーとしての共同作業所 | オイリュトミー療法  講師：石川 | オイリュトミー療法  講師：石川 | 話し合いと質疑応答  講師：ヤコビ |
| 昼休 |  |  |  |  |  |
| 13:40～14:40 | 光こども園施設見学 | オイリュトミー療法  講師：石川 | オイリュトミー療法  講師：石川 | オイルマッサージ療法  講師：森尾 |
| 14:50～16:50 | 運動感覚と平衡感覚の発達とケア  講師：ヤコビ | 中の感覚（嗅覚、味覚、視覚、熱感覚）と上の感覚（聴覚、言語感覚、思考感覚、自我感覚）の更なる見方  講師：ヤコビ | ダウン症児の早期療育  講師：ヤコビ | 自閉症児の早期療育  『生の安心』『コミュニケーション力』『感情移入力』をどのように促すか  講師：ヤコビ |

※この他、19:00～20:00に参加者交流会を数回予定しています。

講師紹介

フェッテメー・ヤコビ

治療教育家。音楽と言葉に重点を置く療育をおこなっている。ドイツ・ビンゲンハイムにて、シュタイナー治療教育者としての養成を受ける。１２年間の育児のあと、ドイツ・シュツットガルト近郊フィルダークリニックの救急小児病棟に現在まで勤務。９７年重度の障がい児（てんかん、自閉症、ADHD、不安・強迫障がい、情緒障がいなど）を保護者とともに受け入れる集中病棟を、マデレーン医師とともに設立。この病棟では、医師による診断・治療のほかに音楽療法、言語療法、芸術療法、オイリュトミー療法、マッサージ療法がおこなわれている。０５年、生後６か月から２歳半までの乳幼児を対象とした「遊びのクラス」を助産師とともに開設。

石川　公子（いしかわ　きみこ）

オイリュトミー療法士。８７年に渡独。治療教育、オイリュトミー療法の課程を終了しルール地方の総合病院ならびにシュタイナー学校で研修後、９９年に帰国。０８年より１年間、ドイツでアントロポゾフィー医学ゼミナールに参加。現在、東京、横浜を中心に病院や診療スペースなどでオイリュトミー療法をおこなう傍ら、健康促進を目的とした「健康オイリュトミー」や、人生を振り返り自らの生き方を見つめなおす「バイオグラフィーワーク」等の講座もおこなう。国際アントロポゾフィー医学ゼミナール講師。共訳に『医療と教育を結ぶシュタイナー教育』ミヒャエル・グレックラー著（郡青社）、『オイリュトミー療法講義』ルドルフ・シュタイナー著（涼風書林）がある。

森尾　敦子（もりお　あつこ）

一般社団法人シュタイナー療育センター代表理事。保育士として３０年の経験を持つ。８７～８９年ドイツのシュタイナー幼稚園教員養成所で学ぶ。９０年横浜シュタイナーこどもの園を設立。元日本シュタイナー幼児教育協会理事。娘が重度の障がいを持ち、シュタイナー治療教育を学ぶために０７年に一家で渡独し、マンハイムとビンゲンハイムにてシュタイナー治療教育を学ぶ。０９年に帰国し、１１年に長野県松川村に一般社団法人シュタイナー療育センターを設立。

松田　仁（まつだ　ひとし）

シュタイナー教育研究家。８３年ドイツ・シュツットガルト・シュタイナー学校教員養成ゼミナールを卒業。８３～８４年、ハンブルク・オイリュトミー学校にて研修をおこなう。０７～０８年ドイツ・マンハイム・シュタイナー教育自由大学にてシュタイナー治療教育課程を修める。０８～０９年ドイツ・ビンゲンハイム・シュタイナー養護教育施設で実習ののち帰国。一般社団法人シュタイナー療育センター職員。その他、長野県安曇野市近郊で小学生のためのシュタイナー教育クラスを開設している。